

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立富洲原中学校

校長 須 川 豊

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
 - ② 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いを反映した学校づくりを推進します。
 - ③ 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。
- ※ これまでの「学びの一体化」の成果を活かしつつ、小中一体となって保幼もまきこみながら、地域とともに子どもを育むことを目指します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）教育活動の実践事例

①地域に学び、地域を愛し、地域に貢献する生徒の育成

クリーン作戦（地域清掃）

クリーン作戦は「校区をきれいにすることで、地域を大切にする心やボランティア精神を養う。」「生徒が主体的に取り組むことにより、自己責任感を育てる。」「生徒・教師がともに校区に出て行くことで、地域を知り、つながりを深める。」ことを目的に毎年、全校生徒が参加し実施しています。1，2年生は校庭周辺、3年生が、小学校、幼稚園、こども園、北部児童館、地区市民センターの清掃を行いました。この取組を地域の方は毎年楽しみにしていただいております、また、生徒たち自身もこれまでお世話になっている施設への恩返しができることをうれしく思っています。



防災訓練・避難訓練

本年度も、地区総合防災訓練（地域住民が一体となって行う総合防災訓練）に土曜授業として、全校生徒が参加しました。今年度は避難のサイレンを合図に、地域の方と一緒に、各地区の1次避難場所へ集合し、そこから2次避難場所へ移動し、その後、

地区総合防災訓練会場の小学校へ移動し、「放水体験」・「煙道体験」・「防災倉庫見学」などさまざまな防災についての体験を行いました。

学校では、学期に一回以上の避難訓練を実施し、避難経路等の見直しを行っています。また1年生は防災教室を開催し、災害時等の応急処置法なども学びました。地区防災訓練の理念である「自助」「共助」「公助」の一助を担う人材となるように、この訓練を継続していきます。



②地域人材、外部講師、保護者を活用した教育活動等

職業体験・図書ボランティア・本と音楽の会

☆職業体験（キャリア教育）

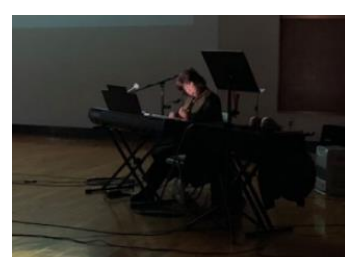
地元で活躍する先輩方に職業講話をしていただきました。その仕事に就いた理由や、働く中でのやりがいや苦勞することなどのお話を聞くことで、働くことについてイメージを膨らませることができました。その講話を受けて、6月には職場体験を実施しました。引き受けていただいた地元企業のおかげで、沢山の経験を積むことができました。



☆図書館ボランティア・読書活動

毎年保護者にボランティアを募り「読書活動推進教育」に協力をしていただいています。1学期に3年生が一人一冊マイブックを選びます。その本の整備を、図書館司書と一緒にしていただきました。

また、本年度も1・2年生の国語科で、野呂様ご夫妻をお招きし「本と音楽の会」を開催しました。野呂様ご夫妻には、毎年いろいろなジャンルの絵本を読んでいただいています。大きな画面に映しされる絵本に合わせた朗読と音楽で、非常に素敵な時間を過ごすことができました。



★歯科保健指導

四日市歯科衛生士会からお二人の衛生士の方にお越しいただき、2年生の歯科保健指導を実施しました。

各教室で同じ内容を同時に行いました。学校歯科医の田中先生にもご参加いただき、最後まで様子を見ていただきました。



生徒は自分の歯並びや染め出し剤を塗って状態を撮影し、普段の歯磨きで十分に磨けていないところや、自分に合った効果的な歯磨きの方法について知ることができました。

(2) 「富洲原地区コミュニティスクール運営協議会（以下「三錨CS運営協議会と記述）」の取組による効果

今年度も「四日市版コミュニティスクール」の委託を受け、地域・家庭・学校が一体となった学校づくりを目指し推進してきました。授業参観や各行事を通して、授業の様子や掲示物などから生徒の取組を見ていただくことができました。また、保育実習や職場体験・クリーン大作戦・総合的な学習の時間のSDGs研究など、様々な場面で地域施設などに出向く機会が多くあり、地域とともにある学校という認識をより一層深めることができました。

富洲原地区は、小中合同でコミュニティスクール運営協議会を実施しており、三錨CS運営協議会では、小中学校だけでなく、保育園・幼稚園・児童館などの様子などについても交流しています。会議でいただいた意見を共有することで、地域の子どもたちを地域で育てていくという視点を大切に、本年度の活動を振り返り、次年度にいかしたいと思います。

(3) 三錨CS運営協議会におけるご意見

① 地域との関わり

- ・地域の協力を得てボランティアの仕組みを整える（グラウンドの草刈りなど）
- ・CSの研修会で地域学校協働本部が中心となる活動の必要性が指摘された

② 生徒主体の活動・学校行事の評価

- ・体育会や文化祭での生徒主体の運営を評価
- ・生徒会が中心となった活動に感銘を受けた
- ・異なるクラス間での協力・応援の姿勢が良い
- ・「失敗OK」というスローガンを評価

③ 授業・学習活動の工夫と課題

- ・ICTの活用が進んでいることに驚き、時代に合った学習が進んでいる
- ・興味を引く授業や、考えさせる授業が行われている
- ・歴史の授業が物語として構成され、興味を引く工夫がされていた
- ・読解力・語彙力の不足が課題（新聞を読もうという意見、言葉を知らない問題）
- ・AI検索ではなく、自分で読解力をつける重要性

④ 学校・家庭の学習環境

- ・家庭学習の時間の定義（学童での時間を含むか）

- ・教員が家庭学習の定着の専門家ではないという指摘
 - ・YouTubeを活用した学習の是非
 - ・学校での学習意欲の維持が難しい（家での励ましも課題）
 - ・「ベーシック学習」に対する生徒のモチベーション低下
- ⑤ 学校設備・運営に関する意見
- ・外の音響設備の改善が必要
 - ・集金の減額は良いが、指定物品をなくすのは難しい

3 今後に向けて

- ① 地域との関わりについて
- ・ボランティアによるグラウンドの草刈りなどの仕組みを検討する。
- ② 生徒主体の活動・学校行事の評価
- ・高評価いただいた生徒主体の取組を次年度も継承する。
- ③ 授業・学習活動の工夫と課題
- ・授業について高評価をいただいている。引き続き授業参観を大切にし、授業の在り方や生徒につけたい力について検討する。
- ④ 学校・家庭の学習環境
- ・家庭との連携の方法について検討する。「ベーシック学習」の目的や意義を生徒・保護者に伝えることや、内容について検討する。
- ⑤ 学校設備・運営に関する意見
- ・指定物品の見直しについて検討する。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 富洲原 中学校

委員長 伊藤 敏彦

校 長 須川 豊

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回運営協議会 (富洲原中学校)	I 校長挨拶及び委嘱状手交→郵送 II 議事→書面で確認 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 「学校づくりビジョン」について
6	第2回運営協議会 (富洲原小学校)	I 授業参観 (小学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
7	第3回運営協議会 (富洲原中学校)	I 授業参観 (中学校) II 小中学校の現状報告 III 意見交流・情報交換
8		
9		
10	第4回運営協議会 (富洲原中学校)	中学校の体育祭を参観
11	第5回運営協議会 (富洲原中学校)	中学校の文化祭を参観
12		
1	第6回運営協議会 (富洲原小学校・中学校)	小学校・中学校にて、それぞれ授業を参観
2	第7回運営協議会 (富洲原中学校)	I 報告・協議 (1) 「教育活動に関するアンケート」等の報告 (2) 「学校関係者評価」について (3) 意見交流・情報交換
3		